

多摩市のごみ施設計画

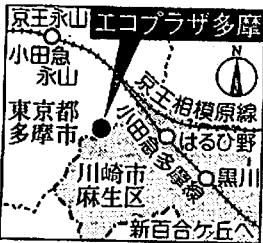
「杉並病」懸念で対立

東京都多摩市が都境のリサイクル施設「エコプラサ多摩」(多摩市諏訪)を進めるプラスチックごみ圧縮装置の整備計画をめぐり、「杉並病」の再来を懸念する隣接地の川崎市麻生区は、野地区の住民と多摩市との間で対立が続いている。施設の安全性を強調する多摩市に対し、住民は「中止以外、安全は保障されない」と反発。六月着工を前に、両者の溝は埋まらず、間に挟まれた川崎市も対応に苦慮している。

(深沢 剛)

麻生区民、中止を要求

多摩市はこれまでリサイクル処理をしていたペットボトルなどに加え、二〇〇八年から包装容器などのプラスチックごみのリサイクル処理を開始。市内で収集した一日十トンのプラスチックを圧縮し、民間リサイクル業者に搬送する予定だ。多摩市は三月着工を指していたが、直前の二月、同地区で杉並病への不安が口伝えに広がり、地元町内会を中心とする反対運動に発展。着工期を余儀なくされた。プラスチック圧縮施設は横浜など全国に約八百カ所あり、多摩市はすべての不燃(みを圧縮していた杉並中継所とは違)と説明。同装置を地



下を隔離し、活性炭で排気を通す過す安全対策の徹底を約束する。しかし、住民は「活性炭ですべての化学物質を防げるのか」と反発。杉並病の研究を続ける勝木

川崎市「外交問題」に苦慮

渥・信州大学元教授(化学)は「原因となる有害物質の発生メカニズムが解明されていない中で、完全な安全対策は不可能」と指摘する。多摩市

◆杉並病 1996年、東京都の有害物質を含む排気による化学物質過敏症とされるが、原因物質については都と専門家で見解が分かれ、安全策も確立されていない。



エコプラサ多摩改修の説明会で、多摩市幹部や同市長に詰め寄る川崎市麻生区の住民ら

労災隠し防止で連携

に報告してもらい、調査に活用する。労災隠し対策をめぐっては、厚労省の研究会が昨年八月、健康保険で受

タイヤ 海自隊 平塚署は 遂の現行犯 隊厚木基部 拓人(20)と 二丁目、(20)の両容 た。 調べでは らは共謀、 時四十五分 四之宮五十 品販売店の から中古々 価三千円増 とした疑い 元仏 部隊 密輸筆録 所持したと は二日ま 反(所持)ハ ンス外国入 則容疑者(色川ら四、 深山被告は 店などで購 解し、パッ て日本に 供述して